

# 競争を生き抜く代理店

代表 那須 顯一

TEL06-6282-6488(代)  
http://www.j-thinktank.com/

## 代理店が損保を子会社に持つ

### メーカー巻き込み新たなメーカーを

今、代理店を経営されている貴方が、  
『もうメーカー(保険会社)に縛られるのは嫌だ!』  
『自分の売りたい商品を開発&供給し続けてくれるメーカーがほしい』  
『思い、それなら自ら損保会社を設立する!』とすれば、そういう自身の姿を想像できますか?」

そんな夢のようなことが現実になりました。先日、『アドリック損害保険株式会社』という新しい保険会社が正式に金融庁から免許を付与された!と発表がありました。

4月8日に営業開始をしたこの会社は、資本金が15億円、その内の50・1%を出資したのは、あの大手『㈱アドバンスクリエイト』さん。残り既成概念にとらわれない

『発想』の『コラボレーション』があってこそ! メーカーとどう付き合うか?を考えた結果、究極の選択(?!『メーカーを巻き込んで、新たな



損保会社と代理店で新たな損保会社設立

## 全体的なパイが縮小傾向 企業や個人の格差を考慮

『発想』の『コラボレーション』があってこそ! メーカーとどう付き合うか?を考えた結果、究極の選択(?!『メーカーを巻き込んで、新たな

『掛けない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

『掛けてない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

『掛けてない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

いくことが大事になってくるのではないしょうか。

マクロ的に考えると、日本国内は人口は減少している。重要な要素から、損害保険も生命保険も、

自動車国内販売台数の減少傾向というものは、年層が大きな鍵を握っています。これは価値観の変化ともいえますが、

『掛けてない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

『掛けてない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

『掛けてない率』が上がる傾向がある。これは価値観の変化ともいえますが、任意保険に掛けることは、

# 「本当にやりたい事って何かな」

沿線ではそろそろ桜の花も咲きかけてきた4月初め、念願叶って初めて彼女にプロポーズができ、年度初めというのもあり待ち合わせ場所に姿を現してくれたのは午後8時前だった。疲れているはずなのに彼女は軽く手を振りながら、最高の笑顔で私の前に座ってくれた。

1980年1月、石川県石川郡で下家の長女として誕生した。「私、とにかく可愛がられたんですよ。初孫っていうこともあったので、おばあちゃんからコンソリ呼び出されては、お小遣いをももらった。学校推薦で受験したんですけど、落ちちゃいました。後6時。家族5人揃っての夕食。それは彼女がこの世で一番恐れている父親の絶対命令。門限を過ぎた場合は鍵付きの大きな

『学校推薦で受験したんですけど、落ちちゃいました。後6時。家族5人揃っての夕食。それは彼女がこの世で一番恐れている父親の絶対命令。門限を過ぎた場合は鍵付きの大きな

『学校推薦で受験したんですけど、落ちちゃいました。後6時。家族5人揃っての夕食。それは彼女がこの世で一番恐れている父親の絶対命令。門限を過ぎた場合は鍵付きの大きな

『学校推薦で受験したんですけど、落ちちゃいました。後6時。家族5人揃っての夕食。それは彼女がこの世で一番恐れている父親の絶対命令。門限を過ぎた場合は鍵付きの大きな

『学校推薦で受験したんですけど、落ちちゃいました。後6時。家族5人揃っての夕食。それは彼女がこの世で一番恐れている父親の絶対命令。門限を過ぎた場合は鍵付きの大きな

## デザイナーTOMOを目指し! 保険も家族の愛情を描く一つ

「ええ! ヤッター!」彼女の足は公衆電話へと走り出していた。「お父さん、受かったよ!」公私にわたり、学生生活が満喫している彼女に、その事故は突然襲いかかった。「交通事故...身元不明...4人死亡」。彼女の誕生日の2日後、再び歩き始めて2年になる朝のニュースだった。何も知らない彼女に、時間の経過と共に友人から入ってくるボケベルのメッセージが見えてないんです。結婚もしたいし! 守るべきものが欲しいんです!

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、

## 競争 保険マーケット

生保営業第一線 ⑦⑨

「お父さん、こんなんいやや...」そこには、彼女が愛してやまない彼女の名前があった。平成12年6月、彼女は父親の反対を押し切り石川の街を出た。デザイナーとしての道を歩むことになるが、